津波浸水予測図　市町村別（縮尺　1:35,000）　浦河町（全２図面）

※津波浸水予測図の説明

■下記の津波を想定津波とし、構造物が「効果あり」・「効果なし」の2パターンのシミュレーションを行ないました。（全2ケース）
■図面には、全2ケースのうち最大の浸水範囲・浸水深（注１）および、代表する地点周辺における最大遡上高（注１）と影響開始時間（注２）を表示しています。
■地震の震源が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、条件が異なる場合には、ここで示した時間より早く津波が来襲したり、遡上高が高くなったり、浸水範囲以外でも浸水する可能性があります。

［シミュレーション条件］

（１）想定津波
　500年間隔地震津波
（２）構造物
　効果あり　：　防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防などの施設が、全て有効に機能したケース。
　効果なし　：　防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防など施設の機能が失われたと想定したケース。
（３）潮　　位　：　朔望平均満潮位　（各月の最高満潮面を平均した潮位）

※注１　最大遡上高と浸水深（図１参照）
　最大遡上高は、各地区で津波が到達する最高の標高とします。浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。
※注２　影響開始時間と津波到達時間（図２参照）
　影響開始時間は、地震発生から、海岸・海中の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化（初期水位から水位変化が±20cm）が生じるまでの時間です。
　津波到達時間は、地震発生から、津波第一波のピークが海岸に到達するまでの時間です。

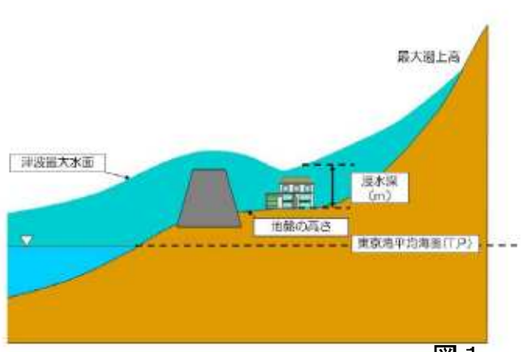


図１

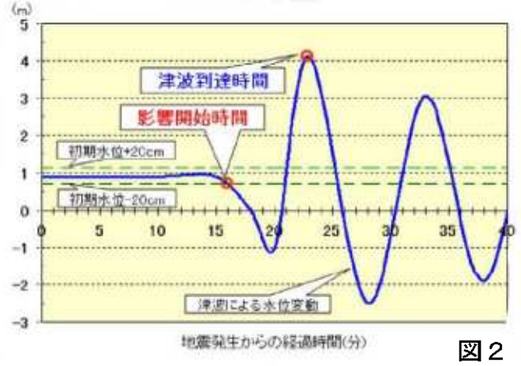
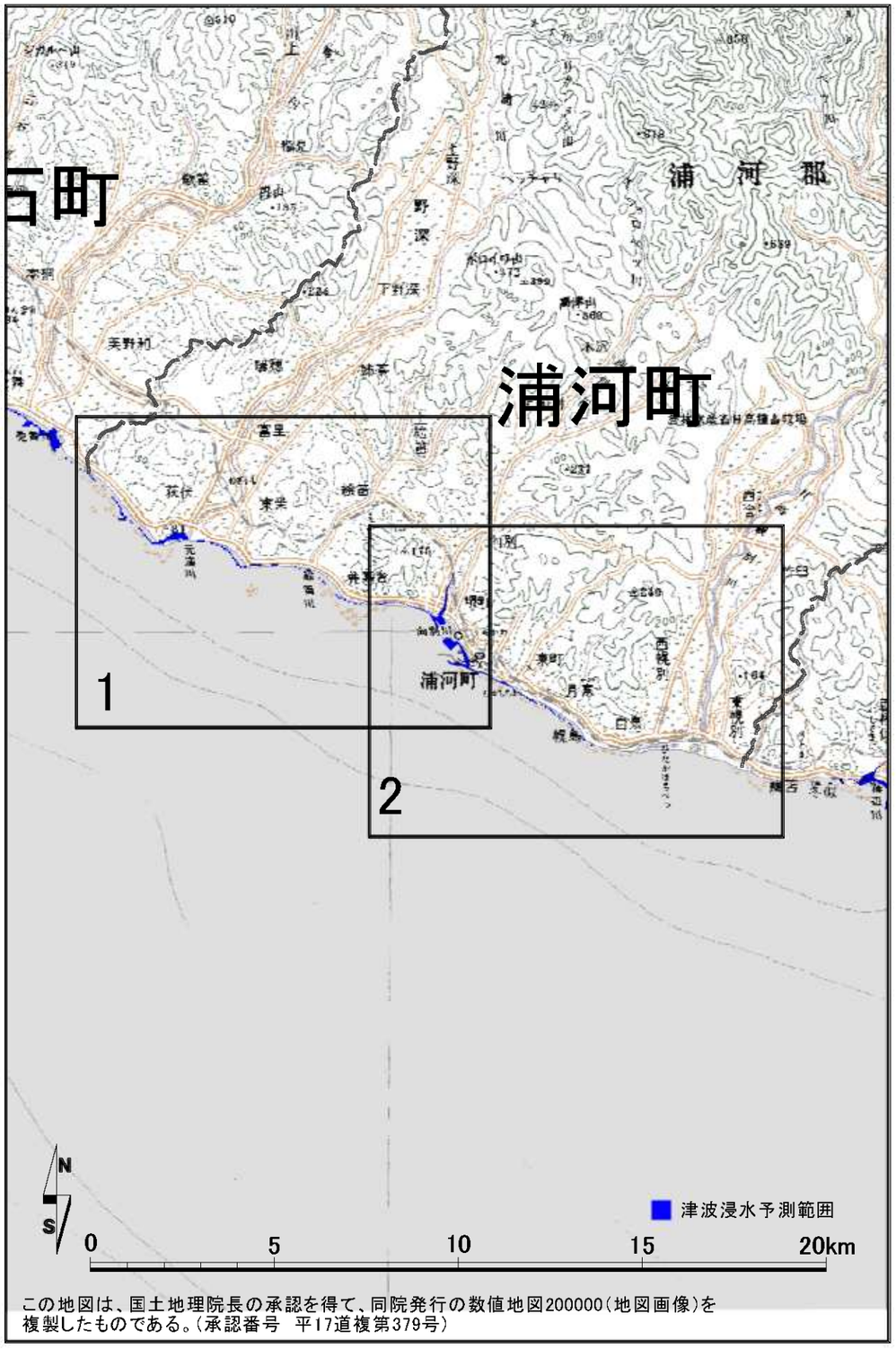


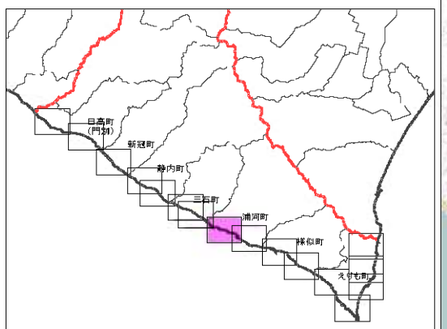
図２

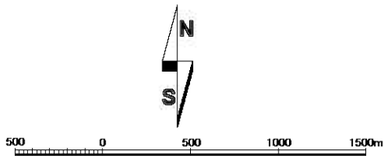
被　害　想　定　結　果			
想定項目	想定地震	500年間隔	
	構造物条件	なし	あり
建物被害　（単位：棟）	床上（全壊）	83	59
	床上（半壊）	76	48
	床上（軽微）	79	63
	床下浸水	211	174
人的被害（冬季）（単位：人）	死者数	19	12
	重傷者数	45	43
	中等傷者数	108	103
人的被害（夏季）（単位：人）	死者数	11	8
	重傷者数	101	99
	中等傷者数	245	240



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平17道複第379号）

津波浸水予測図　市町村別　浦河町　（1／2）





縮尺　1　：　35,000

凡　例

津波浸水予測範囲
（2つの想定津波の最大浸水深）

- 0.5m未満
- 0.5m以上　1.0m未満
- 1.0m以上　2.0m未満
- 2.0m以上　4.0m未満
- 4.0m以上　6.0m未満
- 6.0m以上

検潮所

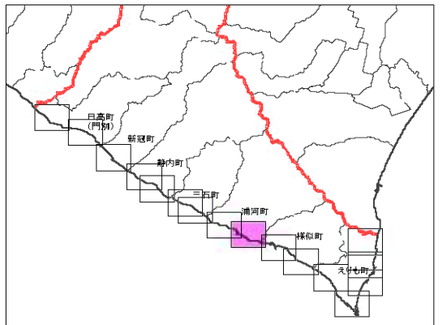
各地で予測される最大遡上高・影響開始時間

地区名
500年間隔地震の最大遡上高（影響開始時間）



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平17道複第379号）

津波浸水予測図　市町村別　浦河町　（2／2）



N

S

500　0　500　1000　1500m

縮尺　1　：　35,000

凡　例

津波浸水予測範囲
（2つの想定津波の最大浸水深）

- 0.5m未満
- 0.5m以上　1.0m未満
- 1.0m以上　2.0m未満
- 2.0m以上　4.0m未満
- 4.0m以上　6.0m未満
- 6.0m以上

検潮所

各地で予測される最大遡上高・影響開始時間

地区名
500年間隔地震の最大遡上高（影響開始時間）

浦河港
5.4m(34分)

東　町
6.6m(34分)

日高幌別川河口
6.6m(34分)

鵜　苫
7.9m(35分)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平17道複第379号）

津波浸水予測図　市町村別（縮尺　1:35,000）　浦河町（全２図面）

※津波浸水予測図の説明

■下記の津波を想定津波とし、それぞれの津波ごとに、構造物が「効果あり」・「効果なし」の2パターンのシミュレーションを行ないました。（全4ケース）
■図面には、全4ケースのうち、最大の浸水範囲、浸水深（注１）を表示しています。
■図面には、代表する地点周辺における想定津波別の最大遡上高（注１）と影響開始時間（注２）を表示しています。
■地震の震源が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、条件が異なる場合には、ここで示した時間より早く津波が来襲したり、遡上高が高くなったり、浸水範囲以外でも浸水する可能性があります。

［シミュレーション条件］

（１）想定津波
　十勝沖・釧路沖の地震津波　　三陸沖北部の地震津波
（２）構造物
　効果あり　：　防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防などの施設が、全て有効に機能したケース。
　効果なし　：　防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防など施設の機能が失われたと想定したケース。
（３）潮　　位　：　朔望平均満潮位　（各月の最高満潮面を平均した潮位）

※注１　最大遡上高と浸水深（図１参照）
　最大遡上高は、各地区で津波が到達する最高の標高とします。浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。
※注２　影響開始時間と津波到達時間（図２参照）
　影響開始時間は、地震発生から、海岸・海中の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化（初期水位から水位変化が±20cm）が生じるまでの時間です。
　津波到達時間は、地震発生から、津波第一波のピークが海岸に到達するまでの時間です。

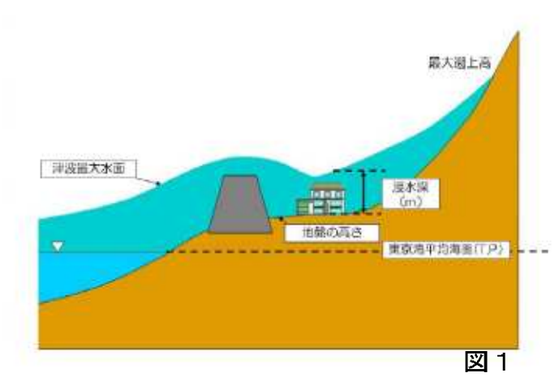


図１

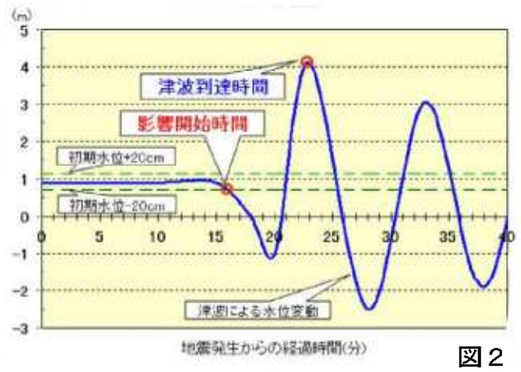
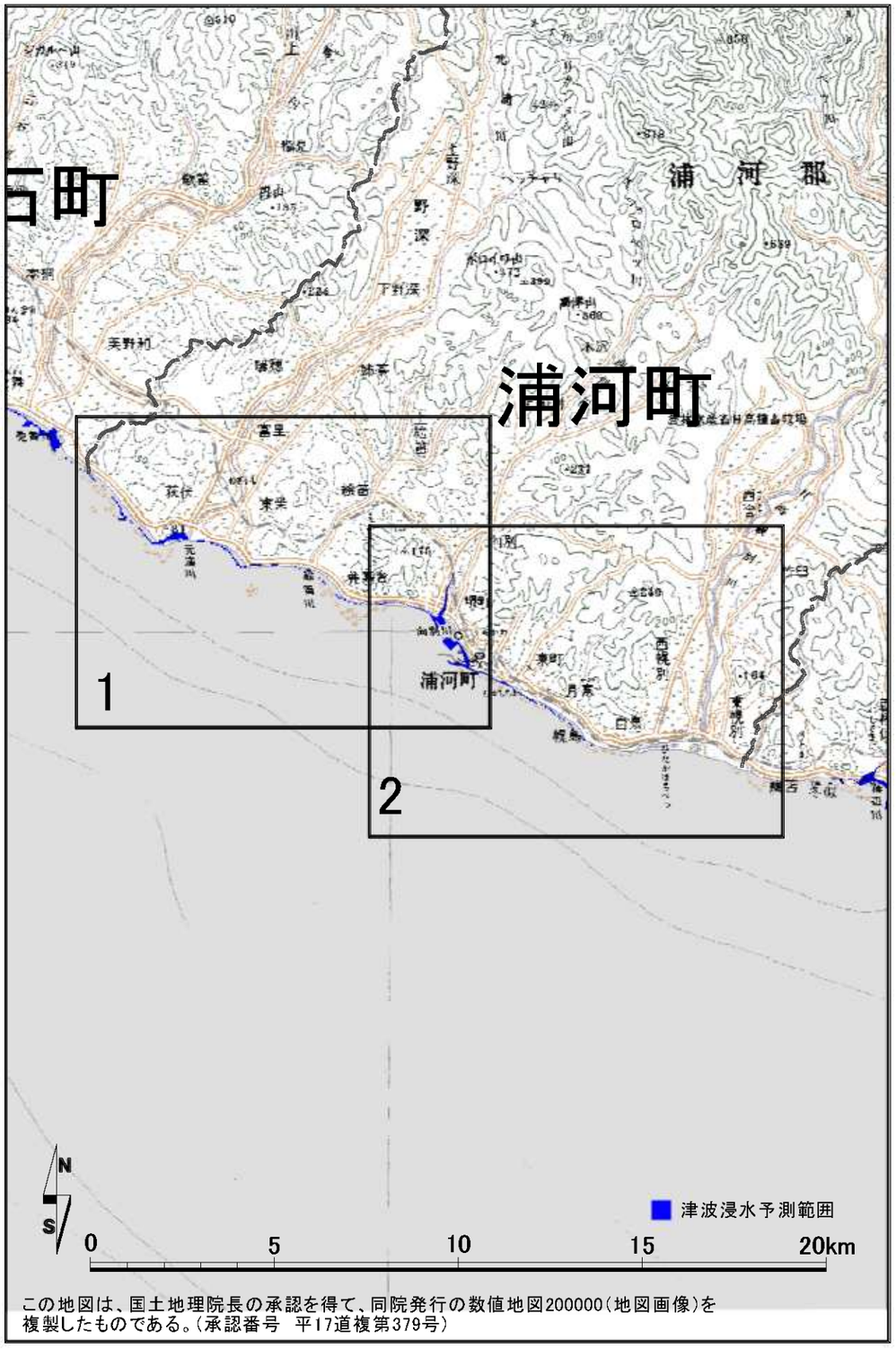


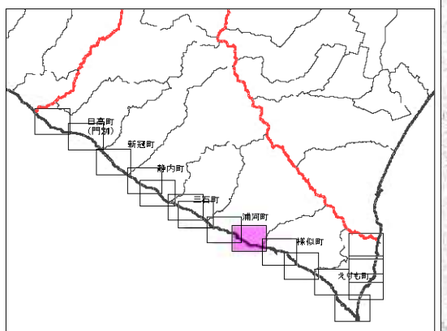
図２

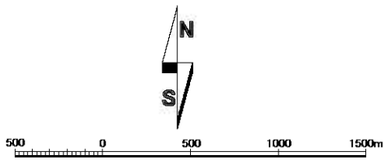
被　害　想　定　結　果					
想定項目	想定地震	十勝沖・釧路沖		三陸沖北部	
	構造物条件	なし	あり	なし	あり
建物被害　（単位：棟）	床上（全壊）	20	22	35	35
	床上（半壊）	18	16	31	61
	床上（軽微）	13	41	47	40
	床下浸水	54	48	42	30
人的被害（冬季）（単位：人）	死者数	8	8	17	27
	重傷者数	45	44	47	50
	中等傷者数	108	107	114	121
人的被害（夏季）（単位：人）	死者数	5	5	8	11
	重傷者数	96	94	100	93
	中等傷者数	231	228	242	224



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平17道複第379号）

津波浸水予測図　市町村別　浦河町　（2／2）





縮尺　1　：　35,000

凡　例

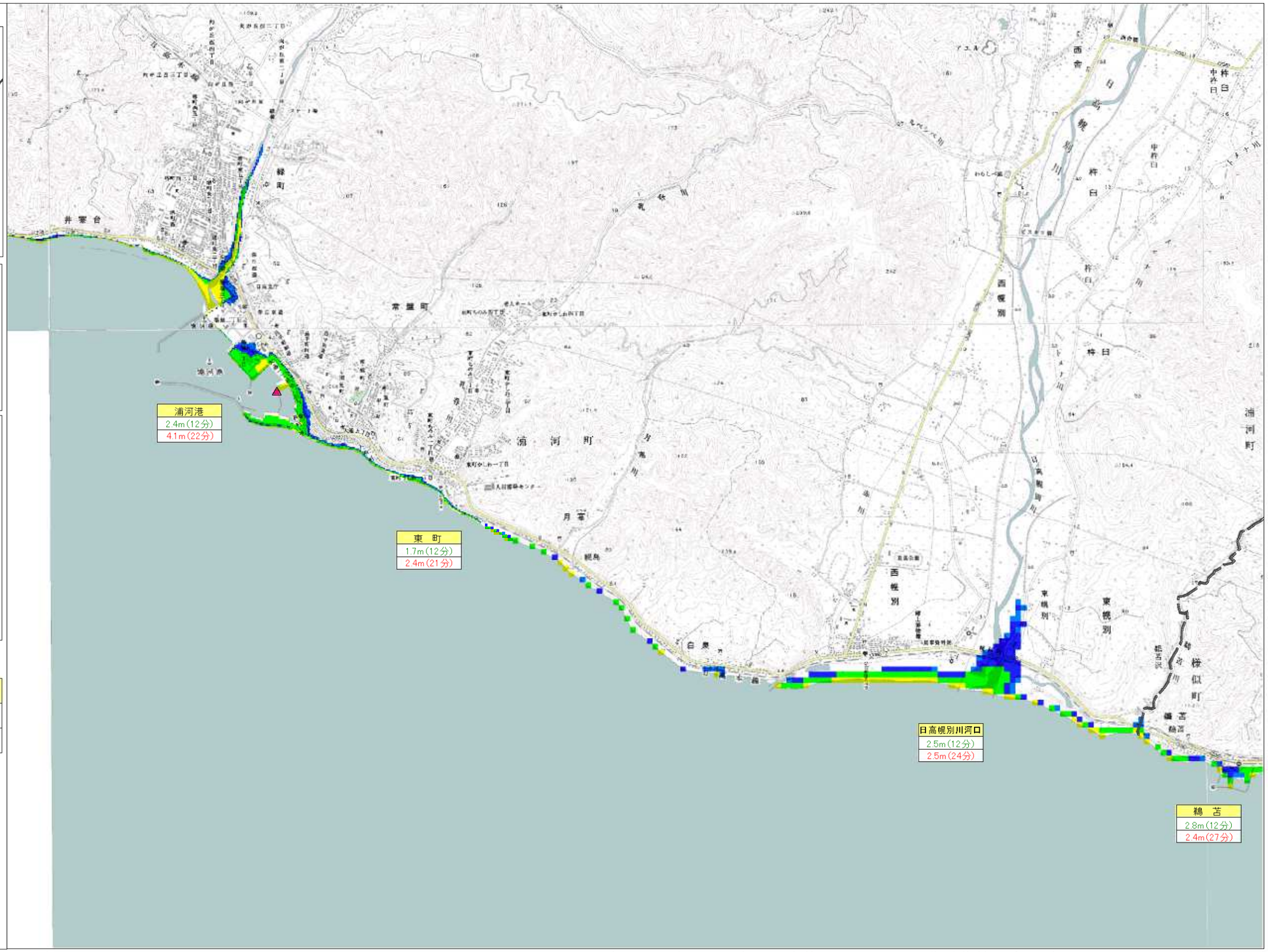
津波浸水予測範囲
（2つの想定津波の最大浸水深）

- 0.5m未満
- 0.5m以上　1.0m未満
- 1.0m以上　2.0m未満
- 2.0m以上　4.0m未満
- 4.0m以上　6.0m未満
- 6.0m以上

検潮所

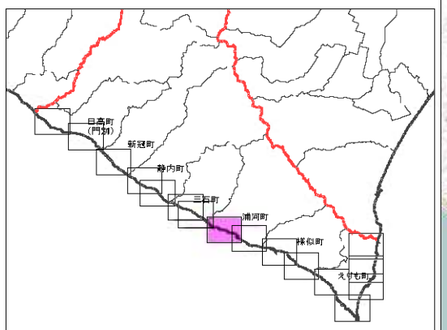
各地で予測される最大遡上高・影響開始時間

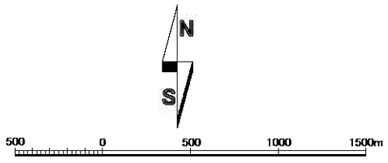
地区名
十勝沖・釧路沖の地震の最大遡上高（影響開始時間）
三陸沖北部の地震の最大遡上高（影響開始時間）



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平17道複第379号）

津波浸水予測図　市町村別　浦河町　（1／2）





縮尺　1　：　35,000

凡　例

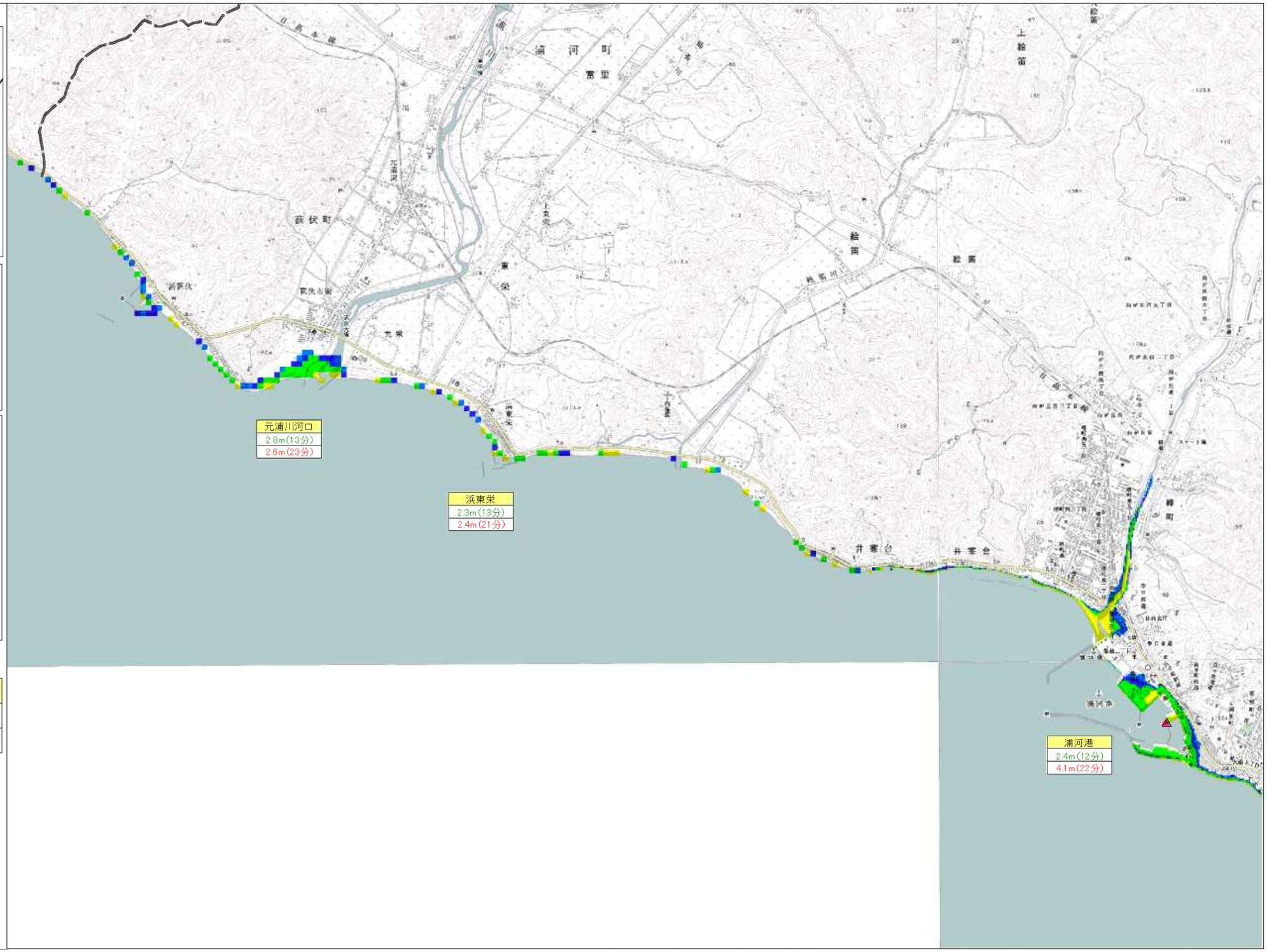
津波浸水予測範囲
（2つの想定津波の最大浸水深）

- 0.5m未満
- 0.5m以上　1.0m未満
- 1.0m以上　2.0m未満
- 2.0m以上　4.0m未満
- 4.0m以上　6.0m未満
- 6.0m以上

▲ 検潮所

各地で予測される最大遡上高・影響開始時間

地区名
十勝沖・釧路沖の地震の最大遡上高（影響開始時間）
三陸沖北部の地震の最大遡上高（影響開始時間）



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平17道複第379号）